

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 4月

平成29年4月1日の推計人口 1,356,226人
世帯数 561,190世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

平成29年4月1日現在の推計人口は、1,356,226人で、前月(1,363,284)に比べ7,058人の減少となった。

市部では佐世保市(1,718)、長崎市(1,657)、諫早市(733)、五島市(446)、島原市(389)、南島原市(287)、対馬市(245)、雲仙市(225)、壱岐市(223)、大村市(217)、西海市(152)、平戸市(125)、松浦市(116)13市で減少した。

郡部においては時津町(15)、佐々町(1)の2町で増加し、長与町(220)、新上五島町(183)、東彼杵町(51)、川棚町(34)、波佐見町(34)、小値賀町(19)6町で減少した。

自然動態は、出生数887人、死亡数1,602人で715人の減少、社会動態は、転入者数11,295人(県内転入を含む)、転出者数17,638人(県内転出を含む)で、6,343人の減少となった。

2 世帯数

平成29年4月1日現在の世帯数は、561,190世帯で前月(562,126)に比べ936世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…2月

1人当たり現金給与総額 251,715円
対前月比 1.0%増加
対前年同月比 1.0%増加

1 賃金

2月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額251,715円で、前月に比べ1.0%増加し、前年同月に比べ1.0%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は250,546円で、前月に比べ1.0%増加し、前年同月に比べ1.4%増加した。

特別給与額は1,169円で、前年同月に比べ、732円減少した。

2 労働時間

2月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は154.6時間で、前月に比べ2.2%増加し、前年同月に比べ0.7%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は142.5時間で前月に比べ2.6%増加し、前年同月と比べ0.3%減少した。

所定外労働時間数は12.1時間で、前月に比べ2.4%減少し、前年同月に比べ4.6%減少した。

3 雇用

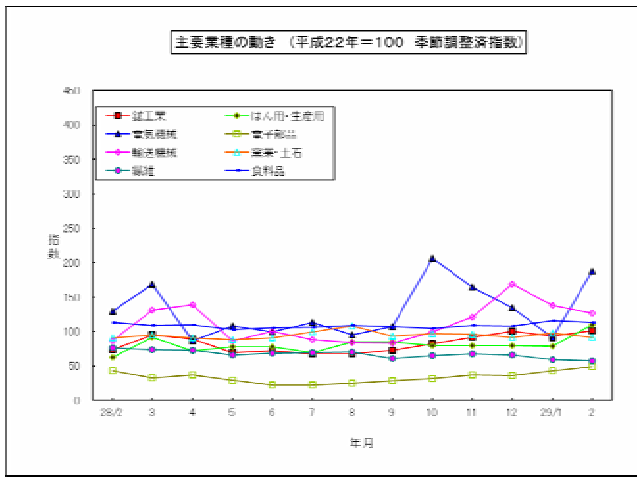
2月の常用労働者数は211,818人で、前月に比べ0.5%減少し、前年同月に比べ0.5%増加した。

【鉱工業生産指数】……………2月

平成29年2月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎県	101.4	8.7	94.4	34.5
九州	110.1	0.1	105.4	7.0
全国	101.7	3.2	98.9	4.7



平成29年2月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が101.4で前月比は8.7%の増、原指数は94.4で、対前年同月比は34.5%の増となった。

業種別にみると、電気機械工業、はん用・生産用機械工業、電子部品・デバイス工業の3業種が上昇し、輸送機械工業、窯業・土石製品工業、食料品工業、繊維工業、など10業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	106.5	24.6	交流発電機
はん用・生産用機械工業	39.3	64.7	ボイラ
電子部品・デバイス工業	14.0	3.3	半導体集積回路

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
輸送機械工業	8.3	57.1	修繕船
窯業・土石製品工業	6.4	3.6	生コンクリート
食料品工業	2.6	1.9	煮干
繊維工業	2.5	25.3	織物製外衣

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 3月

総合指数(H27=100)	100.2
対前月比 (%)	0.1
対前年同月比 (%)	0.2

平成29年3月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、100.2である。

前月比は、0.1%の上昇で、主な上昇要因は「被服及び履物」の+2.3%、「教養娯楽」の+0.9%であり、主な下落要因は「食料」の0.2%、「家具・家事用品」の2.0%である。

前年同月比は、平成28年12月は+0.3%、平成29年1月は+0.4%、2月は+0.0%と推移した後、3月は0.2%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は100.1であり、前月比は0.2%の上昇、前年同月比は+0.1%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

光熱・水道	0.6%
被服及び履物	2.3%
保健医療	0.2%
教養娯楽	0.9%
諸雑費	0.2%

下落した費目

食料	0.2%
家具・家事用品	2.0%
交通・通信	0.2%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……3月

消費支出(一世帯当たり) 268,649円
前月比 25,179円増(10.3%増)

平成29年3月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は268,649円で、前月比10.3%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は97.7%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前月比(%)
食料	66,085	7.8
住居	14,517	2.7
光熱・水道	28,048	1.3
交通・通信	38,970	1.4
教養娯楽	16,657	27.5

(注)この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。